事前評価表

国際協力機構民間連携事業部

1. 基本情報

国名：インド

案件名：女性金融包摂支援事業（アジア諸国金融包摂促進ファシリティ案件）

融資契約締結日：2021 年 8 月 25 日

融資先：Northern Arc Capital Limited

2. 事業の背景と必要性

(1) インドにおける女性の金融包摂の現状・課題及び本事業の位置付け

インドは男女格差を測るジェンダーギャップ指数の総合スコアが 153 カ国中 112 位とされ、ジェンダー間格差が極めて大きいと指摘されている。特に経済的活動への参加機会が 149 位と 2006 年の 110 位から大きく悪化しており、経済進出面でのジェンダー間格差が拡大している。こうした状況の要因のひとつが女性の金融アクセスの不足とされており、同国の女性人口の 40%強である約 2 億 8 千万人が金融アクセスを有さず、女性が経営する中小零細企業（MSME）のうち正規の金融機関からの融資を受けられているのは 10%強に留まり（全 MSME では約 30%）、また女性 MSME の抱える資金ギャップは 205.2 億米ドルとされている。加えて、新型コロナウイルス感染拡大による影響はショックに脆弱な層において特に大きく、コロナ禍の発生以前からすでに不安定な状況にあった女性に対する支援がこれまで以上に必要となっている。IMF は同国の女性の金融アクセスを改善することで GDP が 1.6%上昇し、失業率が 5%低下すると見込んでおり、インド政府も女性・児童開発省が起草中の National Policy for Women において女性の金融アクセス改善を取り組むべき重点課題の一つと定めている。

女性の金融アクセス改善にあたっては地方部を含む個人顧客を多く有するノンバンク（Non-Bank Finance Company。以下、「NBFC」という。）の果たす役割は大きく、今後も増大する見込み。インドには中央銀行に登録された NBFC は 9,659 社あり、インド全体の信用供与のうち約 17%を占め、中でも女性の金融アクセス改善に重要な役割を占めるマイクロファイナンス（女性顧客が 85%）についてはマイクロファイナンス機関の約 67%が NBFC となっている。一方で、2018 年の大手 NBFC の債務不履行により NBFC セクターの信用不安・流動性危機リスクが高まったことで NBFC の調達コストが上昇、加えて同国マクロ経済の低迷及びコロナ禍の影響もあり、優良な NBFC においても資金調達環境が悪化している。マイクロファイナンス及び中小企業向け融資並びに住宅ローン等といった NBFC が融資対象とする個人向け・MSME 向け融資は相対的にリスクが高いため資金調達環境の悪化の影響を受けやすく、NBFC セクターが女性向けの十分に対応されていない膨大な資金需要に応えつつ事業拡大していくために、NBFC セクターの安定した資金調達（長期化・調達手段の多様化）を支援していく必要性は高い。

本事業は、NBFC セクターの資金調達手段の多様化に取り組む Northern Arc Capital

Limited（以下、「NAC」という）への支援を通じて同国における女性の金融アクセス改善を図るものであり、当該セクターの課題やインド政府の方針に合致している。

(2) 女性の金融包摂に対する我が国及び JICA の協力方針と本事業の位置付け

我が国の「対インド国別開発協力方針」（2016 年 3 月）では、重点分野の（3）として持続的で包括的な成長への支援を柱として掲げ、貧困層の収入増のためのプログラムに取り組むとしているほか、留意事項において、平等で包括的な社会の達成のため、ジェンダー平等に留意するとしている。また、JICA は全体としてジェンダー平等と女性のエンパワメントを推進しており、優先課題の一つとして女性の経済的エンパワメントの推進に取り組んでいる。また、我が国も参加する形で 2021 年 G7 コーンウォール・サミット（英国）で 2022 年までの新たなフェーズの実施が発表された「G7 2X チャレンジ：女性のためのファイナンス」イニシアティブでは、G7 各国の開発金融機関が、自らの資金提供を呼び水に民間の投資を促進することで、2022 年までに 150 億ドルの資金を動員することを目指すこととしており、本事業はかかる方針に合致している。また、同国におけるコロナ禍による社会経済的影響への抑制・緩和等を目的として、JICA は 2021 年 1 月に「社会保護のための新型コロナウイルス感染症危機対策支援借款」を供与済みであるが、本事業は、コロナ禍により深刻な影響を受けている女性向けに金融支援を拡大するものであり、JICA が重点課題として掲げる人間の安全保障の実現に寄与する支援としても位置付けられる。

3. 事業概要

(1) 事業目的

本事業は、NAC を通じてインドにおいて女性向け金融サービスを提供するノンバンク金融機関等に対し融資を行うことにより、同国の女性の金融アクセスを改善し、もって同国のジェンダー格差の是正及び持続的な経済成長に寄与するもの。

(2) 対象地域

インド全土（但し係争地を除く）

(3) 事業概要

NAC による女性向け金融サービスを提供する NBFC 向けの貸付資金に充てられる。NAC による貸付先は、2x challenge 適格基準（2021 年 6 月現在）に合致するサブローン事業を展開する NBFC に限定する。

(4) 環境社会配慮・ジェンダー分類

① 環境社会配慮

a) カテゴリ分類：C

b) カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、本事業による環境への望ましくない影響は最小限と判断されるため。

② ジェンダー分類：■GI（P）（女性を主な裨益とする案件）

＜分類理由＞女性の金融アクセス向上を目的とした事業であるため。

(5) その他特記事項

特になし。

4. 事業効果

(1) 定量的効果

指標名	基準値 2020 年 9 月時点	目標値 2025 年時点
NAC が支援する女性顧客数	3,839,401 人	5,712,280 人
転貸先 NBFC の女性顧客数	サブプロジェクト承認時に確認	サブプロジェクト完済時の値が承認時より増加
転貸先 NBFC の女性顧客向け融資残高	サブプロジェクト承認時に確認	サブプロジェクト完済時の値が承認時より増加

(2) 定性的効果

女性の金融アクセス改善。

5. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

(1) 類似案件の評価結果

インド向け円借款「中小零細企業・省エネ支援 事業」（一部本案件と同じスリーステップローンを含む）の事後評価結果において、各地域に根付いた金融機関を通すことで、実施機関単体で事業を実施するよりも広いネットワークを活用した効率的かつ効果的な融資の実施につながった可能性があるとの教訓を得ている。

(2) 本事業への教訓

本事業では､NAC が各地域に根付いた金融機関を取引先として選定するに際して、ポートフォリオ、個別取引先レベルで十分な審査能力・リスク管理能力を有することを確認。

6. 評価結果

本事業は、インドの開発課題、開発政策、並びに、我が国及び JICA の協力方針・分析に合致し、女性の金融包摂促進を通じて同国のジェンダー格差の是正及び持続的な経済成長に寄与に資することから、SDGs ゴール 1（貧困削減）、ゴール 5（ジェンダー平等）、ゴール 8（金融サービスへのアクセス改善）、及びゴール 17（パートナーシップ）に貢献するものであり、海外投融資による支援の意義は高い。

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. (1) のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

2025 年 3 月期を予定。

以　上